

第5回瀬戸内4県都市長会議を開催しました

令和元年10月3日（木）に、松山市内にある「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉^{あすかのゆ}」において、「第5回瀬戸内4県都市長会議」を開催しました。

まず、令和元年度事業報告として、松山市から「香港インフルエンサーを活用したドライブ旅行情報発信」事業について説明がありました。香港からインフルエンサーを招いてレンタカーによる取材ツアーを実施し、4市の魅力をSNS等で発信する取組や、レンタカーを活用した周遊モデルコースを紹介するパンフレットを作成し、現地旅行会社に設置する取組について報告しました。なお、発信するSNSは、「Like Japan」という、香港人向けの、日本の情報発信のソーシャルメディアであり、日本のテレビ番組制作等も経験している女性記者を招聘して実施したものです。結果としては、リーチ数やページビュー数は目標値を大きく上回ったことから、一定の成果が出たのではないかと、という意見がありました。

次に、次年度事業について、岡山市の大森市長から、「瀬戸内4県都市には、日本庭園や神社仏閣、瀬戸内の多島美の景色等、欧米人が好む魅力的なコンテンツが多数存在しており、近年、瀬戸内に対して欧米の注目が集まっていることから、このタイミングを逃さず、欧米に向けたプロモーションを実施すること」について提案がありました。具体的には、欧米豪をターゲットとして、「滞在期間の延長」や「モノ消費からコト消費へのニーズ変化に対応」するため、体験型コンテンツの開発及びブラッシュアップの実施や、体験型コンテンツの商品販売サイト等による情報発信及び販売を行うことにより、4県都が持つ「瀬戸内ブランド」をPRするものです。

瀬戸内4県都市長会議当日の様子

